





















講義名	9050002700 生活支援技術Ⅰ 【ナンバリング：211011】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	鈴木 絵美		

学習目標 (到達目標)

1. 利用者の自立した移動の在り方について理解し、介助における基本的視点を持つことができる。
2. 利用者の身体状態に応じた安全で的確な移乗・移動の介助法を行うことができる。
3. 安全な移乗・移動を行うための環境とその整備について説明することができる。
4. 移動に関連した福祉機器や福祉ロボットの活用方法について説明することができる。

授業概要 (教育目的)

介護を必要とする人々が人間の尊厳をもって、その人らしく生きるための自立・自律を尊重し潜在能力を引き出しつつ、適切な安全・安楽な介護技術を援助できるための知識、技術を習得する。また、ICFの視点を生活支援に活かすことの意識を理解し、生活の豊かさや心身の活性化のための支援につながることを理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1. 筆記試験
2. 実技試験
3. 授業態度

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。  
試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。  
試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。

参考文献

適宜配布する

講義時使用テキスト

生活支援技術Ⅰ 介護福祉士養成講座6 中央法規

資格との関連

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	生活支援の基本的な考え方① 生活支援とは何か ライフサイクルと生活の豊かさ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	生活支援の基本的な考え方② 生活支援のポイント	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
3	根拠に基づく生活支援技術とは	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
4	利用者主体の生活支援技術の実践に向けて① 利用者の生活を理解するとは	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
5	利用者主体の生活支援技術の実践に向けて② 利用者の生活を理解するとは	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
6	生活支援における福祉用具の重要性① 福祉用具とは 福祉用具の種類 公的制度における福祉用具サービス	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
7	生活支援における福祉用具の重要性② 適切な福祉用具を選ぶための視点	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
8	生活支援と介護過程① 事例を通して生活支援を考える 生活支援とチームアプローチ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	生活支援と介護過程② 事例を通して生活支援を考える 生活支援とチームアプローチ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
10	生活支援と介護過程③ 事例を通して生活支援を考える 生活支援とチームアプローチ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	災害における生活支援① 介護福祉職の役割	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
12	災害における生活支援② 災害時における生活支援の実態	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
13	災害時における生活支援③ 八戸市の災害事情を知る	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	災害時における生活支援④ 八戸市の災害事情を知る	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	カレンデュラ 移動・移乗の意義と目的 移動・移乗における基本的な介護の視点	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
16	移動・移乗におけるアセスメント ボデメカニクス 福祉用具使用にあたっての注意点	テキストの該当箇所を読む	課題のレポートを作成する
17	確認テスト「ボデメカニクス」 自立に向けた移動・移乗の介護 ・ベッド上での 上方移動、水平移動	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
18	自立に向けた移動・移乗の介護 ・仰臥位から側臥位の介助	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
19	確認テスト「実技：ベッド上での 上方移動、水平移動」 自立に向けた移動・移乗の介護 ・仰臥位から側臥位への介助と起き上がりから端座位への介助	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
20	自立に向けた移動・移乗の介護 ・端座位から立位の介助 ・応用編「仰臥位から端座位を経て立位まで」	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
21	確認テスト「実技：仰臥位から端座位を経て立位までの介助」 安楽な姿勢・体位を保持する介助 ・褥瘡の原因と予防のポイント ・仰臥位、側臥位、半座位、起座位の体位保持	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
22	安楽な姿勢・体位を保持する介助の実際 車椅子の基本構造 正しい座位姿勢の観察ポイントと基本的な使い方	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
23	確認テスト「車椅子の基本構造」 自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子からベッド、ベッドから車椅子への移乗介助①	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
24	自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子からベッド、ベッドから車椅子への移乗介助②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
25	自立に向けた移動・移乗の介護 ・車椅子の移動介助	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
26	確認テスト「車椅子からベッド、ベッドから車椅子への移乗介助」 自立に向けた移動・移乗の介助 ・歩行の介助を行うにあたって ・杖歩行介助	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
27	自立に向けた移動・移乗の介助 ・転倒事故予防のための環境と整備 ・グループワーク「危険予測と対応」	確認テストのためテキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
28	実技試験「散歩に行くためベッド臥床の利用者を車椅子へ移乗する」	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
29	自立に向けた移動・移乗の介助 ・転倒事故予防のための環境と整備 ・グループワーク「危険予測と対応」	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
30	生活支援、移動の授業を振り返る 事例を通して状態に応じた介護について考える	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9050002800 生活支援技術Ⅱ 【ナンバリング：211012】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	岩館 亜沙美		

### 学習目標(到達目標)

- 健康の維持・増進の為の食事の意義と目的を考える。
- 利用者の身体状態・状況に応じた口腔ケアの技術の演習を通して習得する。
- IADLの視点に注目し「している能力」と「できる能力」に着目し、家事への参加と自立支援に向けた介護実践、技術を習得する。
- 栄養と食事の基礎知識について学習する。
- 身体機能低下や咀嚼・嚥下障害・認知障害等の食事介護が必要とする利用者の状態に応じた適切な食事介助の技法を演習でシミュレーションしながら学習する。
- 自立に向けた家庭生活と家庭経営の支援を習得する。
- 自立に向けた掃除・ゴミ捨て・買い物・衣類・寝具の衛生管理・買い物  
物の支援について習得する。

### 授業概要(教育目的)

利用者の状況・状態に応じて安全・快適でおいしい食事の自立に向けた介護を実践できる。ICFの視点に基づいた介護過程を展開し、利用者の状態・状況に応じた自立に向けた家事の介助ができる。  
高齢者・障害者の日常生活に欠かせない家事援助の知識技術を学ぶ。

### 卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

### 評価方法

- 受講態度
- 課題・レポート(含むグループワーク参加度)
- 試験

### 課題に対するフィードバック

課題(レポート)は採点の上返却する。  
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

### 参考文献

・視聴覚教材「嚥下のメカニズムと嚥下障害」

### 講義時使用テキスト

- ・生活支援技術Ⅱ7 中央法規
- ・生活支援技術Ⅲ8 中央法規

### 資格との関連

### 実務との関連

### 授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業概要の説明 食事の自立に向けた介護とは	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
2	授業概要の説明 食事の自立に向けた介護とは	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
3	食事の意義と目的 自立に向けた食事の介護 (環境づくり、食べにくいもの、とろみの種類、自具具)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
4	食事の意義と目的 自立に向けた食事の介護 (環境づくり、食べにくいもの、とろみの種類、自具具)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
5	利用者の状態に応じた食事の介助① (食事姿勢、部分的介助が必要な利用者)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
6	利用者の状態に応じた食事の介助① (食事姿勢、部分的介助が必要な利用者)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
7	利用者の状態に応じた食事の介助② (ベッド上で行う食事の介助)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
8	利用者の状態に応じた食事の介助② (ベッド上で行う食事の介助)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
9	摂食・嚥下のための支援 (嚥下体操、アイスマッサージ、唾液腺マッサージ)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
10	摂食・嚥下のための支援 (嚥下体操、アイスマッサージ、唾液腺マッサージ)	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
11	嚥食時の対応 障害に応じた生活支援技術	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
12	嚥食時の対応 障害に応じた生活支援技術	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
13	事例を通して考える	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
14	事例を通して考える	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
15	家事の意義と目的	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
16	食生活と栄養素	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
17	掃除・ゴミ捨て① ①和室の掃除の仕方 ②ゴミのまとめ方 ③ゴミ出しの方法	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
18	掃除・ゴミ捨て② ①和室の掃除の仕方 ②ゴミのまとめ方 ③ゴミ出しの方法	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
19	被服生活(洗濯について)① ①洗濯の種類 ②洗濯の特徴	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
20	被服生活(洗濯について)② ①洗濯の種類 ②洗濯の特徴	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
21	裁縫の基本① ①基礎縫い(並縫い・返し縫・まつり縫い) ②基礎縫い(玉結び・ボタン付け) ③課題提出	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
22	裁縫の基本② ①基礎縫い(並縫い・返し縫・まつり縫い) ②基礎縫い(玉結び・ボタン付け) ③課題提出	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
23	被服生活(洗濯の支援)① ①洗濯方法 ②洗剤 ③漂白剤 ④染み抜き	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
24	被服生活(洗濯の支援)② ①洗濯方法 ②洗剤 ③漂白剤 ④染み抜き	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
25	衣類・寝具の衛生管理① ①衣類の収納 ②防虫剤の種類 ③寝具の保管方法 ④寝具の天日干しの仕方	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
26	衣類・寝具の衛生管理② ①衣類の収納 ②防虫剤の種類 ③寝具の保管方法 ④寝具の天日干しの仕方	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
27	家計と消費生活① ①高齢者の家計 ②金銭管理 ③悪質商法・振り込め詐欺 ④クーリングオフ制度	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
28	家計と消費生活② ①高齢者の家計 ②金銭管理 ③悪質商法・振り込め詐欺 ④クーリングオフ制度	教科書の該当箇所を読んで出席すること。	教科書と配布資料を振り返り、論点整理と専門用語を理解する。
29	食事・家事調理の授業を振り返る 事例を通して、状態に応じた利用者の介助について考える。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。
30	食事・家事調理の授業を振り返る 事例を通して、状態に応じた利用者の介助について考える。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。	これまでの配布資料と教科書を振り返ること。

### 学生へのメッセージ

わからないことをそのままにせず、常にポジティブに取り組むこと。

講義名	9050002900 <b>生活支援技術Ⅲ</b> 【ナンバリング：211013】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分		対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	鈴木 絵美		

学習目標(到達目標)

利用者のよりよい自立に向けた排泄、身じたくに関するICFの視点に基づくアセスメント、利用者の状態・状況に応じた自立に向けた介護を実施できるように学習する。

授業概要(教育目的)

1. 個人のプライバシーや人間の尊厳を重視しながら、自立に向けた排泄の支援を考え、実践できる能力を養う。  
2. 身じたくの自立に向けて、利用者の状態・状況に応じた介助の留意点を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面において汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけていること

評価方法

1. 受講態度
2. 課題・レポート(含むグループワーク参加度)
3. 試験

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。  
試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。  
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

壬生尚美・佐分行子編「事例で学ぶ 生活支援技術習得 新カリ対応」日総研出版 2008年  
古澤章良編「福祉施設における危険予知訓練(KYT)」簡井書房 2013年

講義時使用テキスト

介護福祉士養成講座編集委員会編「最新 介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ」中央法規出版株式会社 2020年

資格との関連

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自立に向けた排泄の介護、排泄の意義・目的①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
2	自立に向けた排泄の介護、排泄の意義・目的②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
3	ICFに基づいたアセスメント①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
4	ICFに基づいたアセスメント②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
5	安全・的確な排泄介助の技法(トイレ介助)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
6	安全・的確な排泄介助の技法(トイレ介助)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
7	安全・的確な排泄介助の技法(ポータブルトイレ 介助)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
8	安全・的確な排泄介助の技法(ポータブルトイレ 介助)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
9	安全・的確な排泄介助の技法(原器・便器介助)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
10	安全・的確な排泄介助の技法(原器・便器介助)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
11	安全・的確な排泄介助の技法(おむつ交換)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
12	安全・的確な排泄介助の技法(おむつ交換)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
13	安全・的確な排泄介助の技法(自己導尿・座薬・ストーマ)	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
14	排泄の介護における多職種との連携	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
15	身じたくの意義と目的①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
16	身じたくの意義と目的②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
17	自立に向けた身じたくの介護①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
18	自立に向けた身じたくの介護②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
19	自立に向けた身じたくの介助(洗顔・整髪・ひげの手入れ)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
20	自立に向けた身じたくの介助(洗顔・整髪・ひげの手入れ)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
21	自立に向けた身じたくの介助(爪切り・耳の清潔・化粧)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
22	自立に向けた身じたくの介助(爪切り・耳の清潔・化粧)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
23	自立に向けた身じたくの介助(口腔ケア)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
24	自立に向けた身じたくの介助(口腔ケア)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
25	自立に向けた身じたくの介助(口腔ケア)③	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
26	自立に向けた身じたくの介助(衣服の着脱)①	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
27	自立に向けた身じたくの介助(衣服の着脱)②	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
28	自立に向けた身じたくの介助(衣服の着脱)③	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
29	排泄・身じたくの授業を振り返る。 事例を通して利用者の状態に応じた介護について考える。	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。
30	排泄・身じたくの授業を振り返る。 事例を通して利用者の状態に応じた介護について考える。	授業内容について教科書で確認してくる。	配布資料と教科書を見て復習する。

学生へのメッセージ





講義名	9050003200 介護過程Ⅰ 【ナンバリング：211016】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	小川 あゆみ		

学習目標(到達目標)

1. 利用者の生活を支援することの基本的視点について、介護過程を通して理解する。
2. 科学的根拠に基づいた介護過程を展開するため観察・確認視点を整理し、実践の場で活用できる。
3. 介護過程のプロセスを学習し、実践に向けた思考過程を身に付ける。

授業概要(教育目的)

介護過程を展開するための4つのプロセスについて学び、専門的な視点と実践に向けた知識・技術を習得する。根拠に基づく介護実践に向けた思考プロセスを展開するため、まず介護過程Ⅰでは、専門職者としての観察確認視点を身に付け、利用者の全人的な理解と課題分析につなげる技能を習得する。ゲーム教材を用いる、映像を活用する等体験型学習を取り入れることで、観察・確認視pointsの基礎理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、介護過程を展開できるようになることを目指す。

評価方法

定期試験・グループワークの状況・レポート課題を総合的に評価する

課題に対するフィードバック

計画書などは、添削を1個別に評価し、対応する。

参考文献

参考資料は、授業の際紹介する

講義時使用テキスト

「最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程」 第2版 中央法規出版

資格との関連

介護福祉士資格取得に向けた専門科目

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	尊厳を守るケア・個別ケアの実践に向けて(概要説明)	尊厳をまもることについて、インターネットや文献で調べたり、自分の意見をまとめた	資料を参照し、課題や演習に取り組む
2	尊厳を守るケア・個別ケアの実践に向けて(グループワーク)	尊厳をまもることについて、インターネットや文献で調べたり、自分の意見をまとめた	資料を参照し、課題や演習に取り組む
3	生活支援の考え方と介護過程の必要性	該当テキスト箇所を読み進める	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするともに課題や演習に取り組む
4	人の「生活」の理解を深める	介護の基本Ⅰで学習した内容を振り返る	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするともに課題や演習に取り組む
5	介護過程とは何か、介護過程の意義・目的	テキスト第1章を読み、理解できない語句をチェックする	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするともに課題や演習に取り組む
6	介護過程とは何か、介護過程の意義・目的	テキスト第1章を読み、理解できない語句をチェックする	テキストや資料を参照し、講義の振り返りをするともに課題や演習に取り組む
7	介護過程の展開とプロセス(概要説明)	テキストを読み、介護過程とは何かまとめる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返る
8	介護過程の展開とプロセス(事例を用いて理解を深める)	テキストを読み、介護過程とは何かまとめる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返る
9	介護過程とケアマネジメントの共通点と相違点解説	テキスト第4章を読み、介護過程とケアマネジメントについて共通点や相違点について考えてみる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返り課題や演習に取り組む
10	介護過程とケアマネジメントの共通点と相違点(グループワーク)	テキスト第4章を読み、介護過程とケアマネジメントについて共通点や相違点について考えてみる	テキストや資料を読み、講義内容を振り返り課題や演習に取り組む
11	観察から見える介護福祉実践と専門性	専門家が行う観察とは何か、自分の意見をまとめる	専門的な観察とは何か、講義内容を資料を活用して振り返る
12	観察から見える介護福祉実践と専門性	専門家が行う観察とは何か、自分の意見をまとめる	専門的な観察とは何か、講義内容を資料を活用して振り返る
13	観察・確認視点P.I.P.Eの主題と中核的構成要素の解説	様々な場面におけるP.I.P.Eを考えてみる	P.I.P.Eについて学んだことを振り返り、課題に取り組む
14	観察・確認視点P.I.P.Eの主題と中核的構成要素を事例を用いて分類	様々な場面におけるP.I.P.Eを考えてみる	P.I.P.Eについて学んだことを振り返り、課題に取り組む
15	P.I.P.E-Catch(バイビキャッチ)を解説し体験する	様々な場面における観察項目をP.I.P.E.に当てはめて考えてみる	P.I.P.E-Catchを実践して、身に付いて事例を振り返る。自分で作った観察項目を見直す。
16	ICFに基づいた課題分析とP.I.P.Eの共通点を考える	ICFについて、介護の基本のテキストを確認する	P.I.P.EとICFの共通点について整理する
17	自立支援の考え方と介護過程の必要性(概要説明)	テキスト該当箇所を読み、理解できない語句をチェックする	テキストの該当箇所を読み、演習を行う
18	自立支援の考え方と介護過程の必要性(グループワーク)	テキスト該当箇所を読み、理解できない語句をチェックしたり、調べたりする	テキストの該当箇所を読み、演習を行う
19	ICFの視点に基づく展開の基本視点(介護福祉士養成講座「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」「障害の理解」等を参照)	他の科目で学習した該当箇所を読み「ICF」について理解を深める	資料やテキストの該当箇所を読み込み、ICFの項目ごとに分類できるようにする
20	ICFの視点に基づく展開を事例を用いて記録する	他の科目で学習した該当箇所を読み「ICF」について理解を深める	資料やテキストの該当箇所を読み込み、ICFの項目ごとに分類できるようにする
21	アセスメントの理解	テキスト第2章第2節から第4節を読み込み理解できない箇所や語句をチェックしておく	資料やテキストを振り返り、アセスメントの理解を深める
22	事例を用いてアセスメントを実施	テキスト第2章第2節から第4節を読み込み理解できない箇所や語句をチェックしておく	資料やテキストを振り返り、アセスメントの理解を深める
23	計画の立案(概要説明)	テキスト第2章第5節を読み計画の立案について理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、計画が立案できるようにする
24	計画の立案(計画書の作成)	テキスト第2章第5節を読み計画の立案について理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、計画が立案できるようにする
25	支援の実施①(概要説明)	テキスト第2章第6節を読み、介護の実施における内容で分からない箇所をチェックする。	演習した内容を振り返り、支援の実施の視点や留意点を振り返る。
26	支援の実施②(事例を用いて実践)	テキスト第2章第6節を読み、介護の実施における内容で分からない箇所をチェックする。	演習した内容を振り返り、支援の実施の視点や留意点を振り返る。
27	評価のプロセスと視点①(概要説明)	テキスト第2章7節を読み、評価の内容において理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、評価の意義や目的、評価が適切にできるようにする
28	評価のプロセスと視点②(事例を用いて記録)	テキスト第2章7節を読み、評価の内容において理解できない箇所をチェックしておく	演習した内容を振り返り、評価の意義や目的、評価が適切にできるようにする
29	利用者を全人的に捉える観察・確認視点を活用した情報整理について(映像事例を活用)グループホーム利用者の生活DVDを活用	テキスト第1章、第2章、第4第1節、配布資料を読み、これまでの学習を振り返る	演習を振り返り、これまでの学習における疑問点や課題を明らかにする
30	利用者を全人的に捉える観察・確認視点を活用した情報整理について(映像事例を活用)グループホーム利用者の生活DVDを活用	テキスト第1章、第2章、第4第1節、配布資料を読み、これまでの学習を振り返る	演習を振り返り、これまでの学習における疑問点や課題を明らかにする

講義名	9050003300 介護過程Ⅱ 【ナンバリング：211017】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	介護福祉学科			担当教員	小川 あゆみ		

学習目標(到達目標)

1. 観察・確認視点をを用い、情報の整理や課題抽出ができる。
2. 介護過程のプロセスを理解し、事例を通して計画の立案ができる。
3. 介護過程とケアマネジメントの関係性を理解する。
4. 地域のニーズや社会資源について理解を深める

授業概要(教育目的)

介護過程Ⅰにおいて学習したP.E.L.P及びICFについてシートを活用しながら繰り返し学習し、アセスメント(情報収集と課題分析)の意義や目的の理解を深め、実践で活用できる手法を身に付ける。また、計画の立案、サービスの実施、評価までの流れを具体事例において体験的に学習していく。  
更に介護過程とケアマネジメントの関係性やケアプランと個別援助計画の相違など理解を深める。ケアマネジメントについては事例や、実習での様子を振り返りながら、地域の実情(サービス種別や内容)をまとめ、介護過程Ⅲにつなげる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、利用者の自立支援の観点から、身体的、心理的、社会的支援を展開できる能力を身に付け、介護過程を展開できるようになることを目指す。

評価方法

定期試験・グループワークの状況・レポート課題を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 中央法規出版

資格との関連

介護福祉士資格取得に向けた専門科目

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	観察から見える介護福祉実践と専門性を振り返る	介護過程Ⅰで学習した、観察・確認視点やテキスト第1.2章、第4章第1節を読み、疑問や課題をまとめておく	テキストの該当箇所や資料を読む。
2	観察から見える介護福祉実践と専門性を振り返る	介護過程Ⅰで学習した、観察・確認視点やテキスト第1.2章、第4章第1節を読み、疑問や課題をまとめておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題に取り組み
3	P.I.P.Eシートを活用し、利用者の課題を分析する(食事の場面)	P.I.P.Eシートの使い方や記載内容、観察視点を振り返る	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題に取り組み
4	P.I.P.Eシートを活用し、利用者の課題を分析する(排泄の場面)	P.I.P.Eシートの使い方や記載内容、観察視点を振り返る	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
5	ICFシートを活用し、利用者の課題を分析する(解説)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	演習を振り返ったり、テキストの該当箇所や資料を読む。
6	ICFシートを活用し、利用者の課題を分析する(事例を活用した演習)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	演習を振り返ったり、テキストの該当箇所や資料を読む。
7	利用者ニーズから導き出す個別援助計画の短期目標と長期目標について	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	演習を振り返ったり、テキストの該当箇所や資料を読む。
8	利用者ニーズから導き出す個別援助計画の短期目標と長期目標について(事例を活用した演習)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 テキストの演習、課題に取り組み
9	利用者ニーズに基づいた介護計画の立案Ⅰ(重度の障害がある人の生活支援) ・アセスメント、ICFシートの記載	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
10	利用者ニーズに基づいた介護計画の立案Ⅰ(重度の障害がある人の生活支援) ・介護過程表、介護計画書の作成	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
11	利用者ニーズに基づいた計画の立案Ⅱ(一人暮らし高齢者の生活支援) ・アセスメント～計画書作成	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題に取り組み
12	立案した計画書をもとにケースカンファレンスを行う(カンファレンスを体験的に学習する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
13	利用者ニーズに基づいた計画の立案Ⅲ(施設入居者の生活を理解し計画書を作成する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
14	利用者ニーズに基づいた計画の立案Ⅲ(作成した計画書をもとにケースカンファレンスを行う)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
15	ケアマネジメントの全体像を理解する	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
16	介護過程とケアマネジメントの関係性を改めて確認する(グループワーク)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
17	ケアマネジメントの実際を映像事例を視聴し確認する	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
18	ケアマネジメントの実際を映像事例を視聴し確認する。	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
19	ケアプランと個別援助計画の関係性(解説)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
20	ケアプランと個別援助計画の関係性(事例を用いて確認する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
21	在宅生活を支援している実際事例について(実習の振り返り)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
22	在宅生活を支援している実際事例について(実習の振り返り)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
23	在宅生活で活用できる社会資源の調査(グループワーク)	地域にある社会資源について、文献、インターネット等を活用し、調査しておく	グループ発表の準備
24	在宅生活で活用できる社会資源の調査(グループワーク)	地域にある社会資源について、文献、インターネット等を活用し、調査しておく	グループ発表の準備
25	社会資源調査の発表(グループ)	グループ発表の準備	各グループの内容を振り返り、地域における社会資源についてまとめておく
26	社会資源調査の発表(グループ)	グループ発表の準備	各グループの内容を振り返り、地域における社会資源についてまとめておく
27	個別支援計画における具体的な支援内容(家族への説明と同意と家族支援(解説))	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
28	個別支援計画における具体的な支援内容(家族への説明と同意と家族支援(事例を活用し理解を深める))	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	テキストの該当箇所や資料を読む。 課題やテキストの演習に取り組み
29	介護計画の継続性と修正 介護過程における評価のプロセスと実際	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	総合的な振り返りと、自身の課題をまとめておく
30	介護計画の継続性と修正 介護過程における評価のプロセスと実際(事例を用いて確認する)	該当箇所を読み、疑問点を確認しておく	総合的な振り返りと、自身の課題をまとめておく

























講義名	9050004600 <b>認知症の理解Ⅱ</b> 【ナンバリング：211030】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	杉田 由佳理		

**学習目標(到達目標)**

1. 認知症の人の生活を環境面から捉え、家族や社会との関わりによる認知症への影響を理解できる。
2. 多職種が連携・協働する支援のありかたを理解する。
3. 認知症の人の家族が抱える生活の大変さと、求められる支援について理解する。

**授業概要(教育目的)**

1. 本人主体の認知症ケアの実践ができるよう、その人の特性を踏まえたアセスメントの視点を学習する。
2. 認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制を学習する。
3. 家族の受容段階や介護力に応じた支援を学習する。

**卒業認定・学位授与の方針との関連**

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

**評価方法**

定期試験、レポート課題、グループワークの取り組み状況を踏まえ総合的に判断する。

**講義時使用テキスト**

「最新・介護福祉士養成講座第13巻 認知症の理解(第2版)」  
介護福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)

**資格との関連**

**実務との関連**

**授業計画表**

	内容	予習	復習
1	バーソンセンタードケア	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
2	認知症の人の理解とアセスメント①	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
3	認知症の人の理解とアセスメント②	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
4	認知症の人とのコミュニケーション①	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
5	認知症の人とのコミュニケーション②	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
6	認知症の人へのケア(ADL、BPSDなどへの対応)	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
7	ユマニチュード	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
8	認知症の人へのアプローチ方法	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
9	バリエーション	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
10	認知症の人の終末期医療と介護	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
11	認知症の人のための環境づくり	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
12	介護者支援①(家族への支援)	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
13	介護者支援②(介護福祉職への支援)	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
14	地域包括ケアシステムにおける認知症ケア	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。
15	他職種連携と協働	テキストの該当するページを事前に読んでおくこと。また普段の日常生活において、新聞やテレビニュースなどを通して、認知症介護に関する社会の動きを眺めておくこと。	本講義は、他の科目に関連する学習内容が多く、講義後は学習したことを他の科目にも生かすこと。

**学生へのメッセージ**

「認知症の理解Ⅰ」での学びを生かす授業となるため、前期での既習内容を確認して、授業に臨んでほしい。





講義名	9050004901 <b>こころとからだのしくみⅠ</b> 【ナンバリング：211033】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	杉田 由佳理		

#### 学習目標(到達目標)

①脳の待つくみの概要(大脳皮質の機能局在、大脳辺縁系、大脳基底核の機能)を理解し、この知識を使い、事例のメカニズムを他者に説明出来る。  
②認知、学習・記憶、思考、感情、意欲・動機づけ、適応、パーソナリティなどこころの心理学的側面の基礎的しくみについて理解し、事例を用いて他者に説明出来る。

#### 卒業認定・学位授与の方針との関連

あらゆる場面に汎用できる介護の知識と技術を有し、自立支援の観点から、身体的・心理的・社会的支援を展開できる能力を身につけている。

#### 評価方法

定期試験70% 課題学習への取り組み 20% グループワークの参加状況 10%  
単元ごとの振り返りテストは評価に入れない。

#### 講義時使用テキスト

最新 介護福祉士養成講座 11 「こころとからだのしくみ」中央法規

#### 資格との関連

介護福祉士国家試験を受けるため必須の修得科目である。

#### 実務との関連

看護師および専任介護教員、大学教員(社会福祉学部)として、臨床と教育に携わった経験を活かし、理論に基づいた実践について、具体的に講義をします。

#### 授業概要(教育目的)

対象者の思いを知ることは、介護実践における根拠の1つとして重要な位置づけとなる。そのため、心理学的側面からのこころのしくみの諸理論を理解し、それを基盤として対象者のこころの状態を推論、的確に判断し、適切な生活支援を実施できるようにする。また、多職種との協働のため、介護の専門職として、対象者のこころの状態を説明できる力を身につける。

#### 課題に対するフィードバック

課題のフードバックは、次の授業の最初に行います。

#### 参考文献

随時、紹介する。

#### 学生へのメッセージ

学生の皆さんにとって、専門用語を理解することは、大きな課題だと思います。テキストに出てくる専門用語については丁寧に説明しながら授業を進めていきます。専門用語の理解を深めるためには、予習として事前に、わからない言葉をチェックして授業に参加することが前提となります。授業では、学生の皆さんの理解が進むよう、グループワークやバズセッション、小テスト等を用い、知識の定着をはかっていきます。わからないことは、そのままにせず、その都度、解決をして、「わかった」を多くしていきましょう。

#### 授業計画表

	内容	予習	復習
1	こころとからだのしくみを学ぶ意義 こころとからだのしくみⅠ～Ⅳの構成について 授業での進め方 授業の留意点 ワールドカフェによる科目オリエンテーションの共有	テキストの「はじめに」と目次をチェックし、この科目の概要を把握しておく。	こころとからだのしくみの位置づけ、意図について確認する
2	健康について(健康の定義、健康観、病気の概念、介護福祉職の役割)グループワーク	テキスト「健康」とは何かを読み、わからない言葉をチェックする	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
3	人間の欲求について(人間の基本的欲求と社会的欲求)	テキスト「人間の欲求について」読み、わからない言葉をチェックする	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
4	自己実現と尊厳(自己概念とライフステージ、自己概念と自立への意欲の関係、自己実現と尊厳、高齢者のための国連原則)	テキスト「自己実現と尊厳」読み、わからない言葉をチェックする	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
5	脳のしくみ1(脳の構造について①)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
6	脳のしくみ(脳の構造について②)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
7	認知のしくみ(感覚と知覚と統合)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
8	学習のしくみ(条件づけと観察学習)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
9	記憶のしくみ(記憶の段階と分類)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
10	思考のしくみ(思考とは何か、思考の異常)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
11	感情・情動のしくみ(感情とは、感情の異常)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
12	意欲・動機づけのしくみ(動機づけの過程、意欲(欲動・意志)のかわり、動機づけ、意欲の障害)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
13	適応のしくみ1(適応とは、適応機制)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
14	適応のしくみ2(適応の異常、高齢者の人格と適応)	テキストと資料を使って、該当箇所の予習をしていく。	指示された課題への取り組み 配布資料を参考にして、専門用語の確認をする。
15	こころとからだのしくみⅠのまとめ グループワーク	今まで配布された資料の内容を確認する	授業のまとめ、グループワークの内容を整理する。























































講義名	9050007000 <b>地域文化論 I</b> 【ナンバリング：110007】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	介護福祉学科			担当教員	小川 あゆみ		

**学習目標 (到達目標)**

- ①八戸市を中心とする南部地域の歴史を理解し、説明できる。
- ②八戸市を中心とする南部地域の文化と特性を理解し、説明できる。
- ③地域課題を抽出し、解決策を検討することができる。

**授業概要 (教育目的)**

私たちの生活は、個人だけで完結するものではなく、周囲の環境や調和のもとに創出されていると考えられる。介護が必要な高齢者はもちろん生活者にはコミュニティにおける歴史的・文化的価値観や信念などがあり、そのことをよく理解した上で専門的なケアに結びつける必要がある。地域を理解することが、人を理解することにつながることを踏まえ、南部八戸地域の歴史や文化の理解を深めるための講義や地域に根付いている流し踊りなどを体験的に学習する。

**授業計画表**

	内容	予習	復習
1	オリエンテーリング、学内散策	シラバスの確認	講義内容の振り返り
2	地域特性の調査 ・自分が住んでいる地域の特産物、観光地、町内会の活動、防災に関する意識など様々な観点で調査し、グループごとに発表	地域調査(文献、インターネット)	講義内容の振り返り
3	八戸市の特産品と郷土食 ・せんべい汁、まめしときの試食	特産品や郷土食を調べる(文献、インターネット)	講義内容を振り返る
4	八戸市の歴史(八戸誕生から現代を知る ・ゲストティーチャー 三浦忠司氏	八戸の歴史について事前学習(文献、インターネット)	講義内容や八戸市の地図をみながら振り返る。
5	昭和の生活と南部弁	南部弁について調べる(インターネット)	インターネットで関連動画を閲覧する
6	八戸小唄流し踊りを踊ってみよう ・ゲストティーチャー 黒 彩葉先生	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
7	八戸小唄流し踊りを踊ってみよう	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
8	八戸市南郷歴史資料館見学 ・昭和の八戸市の理解を深める	昭和の生活について動画を閲覧する	資料を確認し振り返り
9	八戸市南郷歴史資料館見学 ・昭和の八戸市の理解を深める	昭和の生活について関連動画を閲覧する	資料を確認しながら振り返り
10	八戸小唄流し踊り(イベントへの参加)	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
11	八戸小唄流し踊り(イベントへの参加)	インターネットで関連動画を閲覧する	インターネットで関連動画を閲覧する
12	八戸市の伝統芸能について	八戸市の伝統芸能について調べる(文献、インターネット)	インターネットで関連動画を閲覧する
13	八戸市の地域課題の抽出と解決策を探る① (中心街の活性化) ・グループワーク	八戸市の課題についてインターネットや地域計画などの内容を確認する	グループワークの内容を振り返る
14	八戸市の地域課題の抽出と解決策を探る② (観光と物産) ・グループワーク	八戸市の課題についてインターネットや地域計画などの内容を確認する	グループワークの内容を振り返る
15	八戸市の地域課題の抽出と解決策を探る③ (10年後の生活を見据えて) ・グループワーク	八戸市の課題についてインターネットや地域計画などの内容を確認する	グループワークの内容を振り返る

**卒業認定・学位授与の方針との関連**

介護実践の基盤となる教養と総合的な判断力および豊かな人間性を身につけている。

**評価方法**

グループワークの状況やレポート課題の内容を総合的に勘案し、合否判定を行う

**課題に対するフィードバック**

レポート課題などは個別に添削し返却する。振り返りの時間を設ける。

**参考文献**

**講義時使用テキスト**

参考資料は随時講義内で配布

**資格との関連**

**学生へのメッセージ**

地域や文化に興味を持ち、地域に住む人の理解につなげてほしい。

**実務との関連**





講義名	9050007502	データサイエンス入門					
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	介護福祉	担当教員	馬場 祥次				

学習目標 (到達目標)

この授業の到達点として、以下が挙げられる。

1. AIやDXなど現代の情報用語を適切に説明できる。
2. 情報科学とデータ分析について説明でき、かつ活用することができる。
3. 地域経営学部では、統計学や経営情報論、人間健康学部では心理統計学、保健統計学、疫学などのデータを扱う上位科目で、この授業で得られた知識を活用し応用できる。

授業概要 (教育目的)

現在の情報化社会の進展や人々の生活の多様性を理解するにおいてデータ分析の果たす役割は大きい。とりわけエビデンスという用語に集約されるように、データに基づく客観的判断や判断根拠が重要視されている。さらにAIやDXに代表されるように、我が国全体としてデジタル化がより一層推進されている。

そのような社会的現状を踏まえて本授業では、データの科学的分析、情報化社会の進展とデータ役割の基礎的内容について、情報科学とデータ分析の関係について講じる。

本科目では、近年の情報化社会、デジタル社会において様々なデータを適切な科学的方法で分析できる基本的考えを身につけるとともに、現代社会における情報科学のリテラシーを習得することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

小テスト、演習課題等により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

次の授業で代表的なものをつかつてフィードバックする。

参考文献

必要に応じて適宜指示する。

講義時使用テキスト

教科書は使用しない。

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

- ・情報処理基礎をはじめ情報関連の科目、数学などの自然科学の分野を併せて履修することが望ましい。
- ・情報化社会は現在の私たちが生活している中で着々と進展していることから、情報やデータがどのように生活に関わっているか意識することが望ましい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	データサイエンスとは(AI・データサイエンスを学ぶ重要性)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
2	社会で起きている変化を知る(Society5.0・AI・IoT・ビッグデータ・5G)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
3	社会で活用されているデータ(リサーチ(調査)データ・観測データ・実験データ・ログデータ・オープンデータ等)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
4	データとAI活用領域(データ・AIを何につかえるのか:デジタルサイネージ・ワンストップマーケティング等)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
5	データとAI利活用のための技術(AIの歴史と定義・AIができること・機械学習と深層学習等)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
6	データとAIの活用現場と最前線(データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているか活用事例から学ぶ)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
7	データリテラシー① データ活用のプロセス(目的設定-データ収集-分析-考察-表現)とデータの種類	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
8	データリテラシー② データの分布と代表値とその意味	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
9	データリテラシー③ データのバラつき	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
10	データリテラシー④ 相関と回帰の違い	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
11	データリテラシー⑤ データ間での因果関係	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
12	データリテラシー⑥ アンケート調査結果の集計・解釈演習(実データ検討)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
13	データリテラシー⑦ アンケート調査結果の集計・解釈演習(テキストマイニング解析含む)(実データ検討)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
14	データ・AIを扱う留意事項(データ活用の負の側面・関連法制度・AI倫理・ELSIについて学ぶ)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
15	データを守る(個人情報を守るための自己防衛策について学ぶ・AI導入による負の事例調査を行う)	WebClassにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

講義名	9050007503	ピアノレッスンⅢ（再履修）					
		【ナンバリング：210043】					
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

### 学習目標(到達目標)

- ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
- 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
- ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

### 授業概要(教育目的)

- 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
- 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
- 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらずになめらかに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

### 卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

### 評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)  
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進捗票)

### 課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

### 参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)  
行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代 共著 トレミ楽譜出版社

### 講義時使用テキスト

### 資格との関連

保育士資格選択必修科目

### 実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

### 学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

### 授業計画表

	内容	予習	復習
1	童謡弾き歌い(春の課題曲)① 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
2	童謡弾き歌い(春の課題曲)② 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
3	童謡弾き歌い課題曲表現発表	課題:春の童謡	課題:春の童謡 保育実習曲 自由曲
4	童謡弾き歌い(夏の課題曲)① 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
5	童謡弾き歌い(夏の課題曲)② 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
6	童謡弾き歌い(夏の課題曲)③ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
7	童謡弾き歌い(夏の課題曲)④ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
8	童謡弾き歌い(夏の課題曲)表現発表 保育実習曲(朝・帰りのうた)	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 自由曲
9	自由曲 幼稚園課題曲① 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
10	自由曲 幼稚園課題曲②	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
11	自由曲 幼稚園課題曲③	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲
12	自由曲表現発表	自由曲	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
13	幼稚園課題曲④ 童謡弾き歌い(秋の課題曲)	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
14	幼稚園課題曲⑤	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
15	幼稚園実習曲表現発表	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	童謡弾き歌い(秋の課題曲)







講義名	9050007507 自然科学概論						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1・2
対象学科	幼児保育/介護福祉			担当教員	村本 諭		

学習目標(到達目標)

物理学・化学・生物学の基礎を理解し、物理学・化学・生物学の統合された自然科学で生物を説明できる。

授業概要(教育目的)

生物の特徴はその多様性と統一性の両面に見られる。生物体内では絶えず化合と分解の化学変化が行われ、生物体とそれをとりまく外部環境との間には物質の循環がみとめられる。物質の循環は化学変化であるが、光のエネルギーが大きな働きをなす。太陽のエネルギーが姿をかえて、生物体内の化学変化を酵素の存在のもとに行っている。また、機械的な仕事、熱、光、電気、化学現象間はエネルギー概念により結びつけられた。生命現象を理解するために、これらの自然科学(生物学、化学、物理学)の基礎を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

受講態度と定期試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義において随時紹介する。

講義時使用テキスト

高等学校「生物 BIOLOGY」第一学習社

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自然科学概論とは	自然界の成り立ちとこれを支配する法則を調べる。	人類の直面する諸問題の論点を整理する。
2	生物の基本概念と基本構造	生命体の基本的属性を調べる。	生物の多様性と生命の斉一性を理解する。
3	生物の増殖	生物の増殖について調べる。	生物としての増殖には無性生殖と有性生殖があることを理解する。
4	生命と水	生命活動に重要な水の性質を調べる。	生命現象を水との関わりで理解する。
5	タンパク質	タンパク質の構造と機能について調べる。	タンパク質を機能から整理する。
6	糖質	生命活動のエネルギー源としての糖質について調べる。	糖質のエネルギー代謝を理解する。
7	脂質	水に溶けない脂質の役割を調べる。	エネルギー源、生体膜成分等の脂質の役割を整理する。
8	核酸と遺伝子	核酸の構造と機能を調べる。	遺伝子の本体としての核酸の構造を理解する。
9	細胞	生命活動の最小単位としての細胞について調べる。	細胞の構造と機能を理解する。
10	遺伝子DNA	遺伝子の本体のDNAの構造と遺伝情報の関係を調べる。	DNAの二重らせん構造と遺伝情報について理解する。
11	遺伝情報の発現	遺伝情報はタンパク質となり機能する。その仕組みを調べる。	遺伝情報の発現の仕組みを理解する。
12	遺伝情報の翻訳	遺伝情報をタンパク質に翻訳する仕組みを調べる。	遺伝情報の翻訳の仕組みを理解する。
13	生物学的存在としての人間①	人間は周囲の環境と影響し合って生きている。その仕組みを調べる。	人間の生命活動を整理する。
14	生物学的存在としての人間②	60兆個の細胞からなる人間の生体内の恒常性を調べる。	動的平衡で生体内の恒常性を保つ仕組みを理解する。
15	生命誕生	生命誕生について調べる。	受精卵から生命誕生までの仕組みを整理する。